

評価項目	評価の観点
<b>1. 実績</b>	
(1) 導入・運用実績	自治体へ財務会計システム導入・運用実績 (中核市以上、中核市未満、一般企業等の導入・運用実績)
(2) 他システム連携	他システムとの連携実績 (他システムとの連携実績、連携に係るカスタマイズの要否・利便性の向上等)
<b>2. 機能面</b>	
(1) 機能要件	本市の希望する機能要件を満たしているか (要件種別「必須」項目に1つでも「×：対応不可」がある場合は失格とする。)
(2) 操作性	システムの検索、入力、出力、画面構成など操作しやすいものとなっているか
(3) 機能追加の容易さ	将来的な機能追加やシステムの拡張が容易か (法改正にどのように対応するか、システムの拡張はどの程度可能か等)
(4) データ抽出	市職員がデータ抽出や加工等を行えるか (職員がEUC機能等を活用できるか、加工しやすいレイアウトか等)
<b>3. 情報セキュリティ</b>	
(1) 社内体制整備	社内体制や規則等が整備され、従業員にも徹底されているか (社内研修がされているか、再委託先においてもセキュリティ対策を実施しているか等)
(2) セキュリティ向上機能	市職員のセキュリティ向上に資する機能はあるか (IDやパスワード、個人情報などの管理について、閲覧権限の制御ができるなどの機能はあるか等)
<b>4. サポート体制</b>	
(1) 構築体制	構築作業における体制が整っているか
(2) 運用保守体制	システム運用保守及びSEによる保守対応業務について (保守体制は適切に確保されているか、対応について適切に記録化されているか等)
(3) 障害対応方針	障害発生時の対応方針について (対応方針が定められているか、体制は十分か等)
(4) 職員に対するサポート	本市職員に対するサポート(操作・研修等)が充実しているか
<b>5. 実現性</b>	
(1) スケジュール	導入に係るスケジュールは適正に計画されているか (不測の事態に対応が可能か等)
(2) データ移行	データ移行についてスケジュール等が考慮されているか (導入時のデータ移行(受け側)に限らず、システム更新する場合のデータ移行(出す側)も考慮しているか等)
<b>6. コスト</b>	
(1) 導入コスト	導入コストについて (本市提案額以内で、品質を落とさずに低価格を実現できるか)
(2) ランニングコスト	ランニングコストについて (本市提案額以内で、品質を落とさずに低価格を実現できるか)
<b>7. その他</b>	
(1) プレゼンテーション	説明の論理性や業務に対する理解度・姿勢について
(2) 追加提案	ノンカスタマイズで実現できる業務効率化の提案があるか
<b>8. 会社概要(市内加点)</b>	
(1) 市内事業者加点	市内事業者であれば5%、準市内事業者であれば2.5%の加点
<b>合 計</b>	